



基本理念「心のかよう医療を行い、信頼される病院」

# かわせみ

R4年度  
夏号  
VOL.53

◆内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチXi)の導入

◆ダ・ヴィンチ内覧会を開催しました!

◆新任医師のお知らせ



## ご挨拶

宮垣 純一 (みやがき じゅんいち)  
病院事業管理者

市立ひらかた病院は北河内地域で唯一の公立病院であり、他の病院には担うことが難しい機能を持つことが求められています。これを政策的医療といい、小児医療、周産期医療、救急医療、災害医療、へき地医療という5事業がそれにあたります。さらに今回のコロナ禍を受け、新興感染症が加えられ6事業となりました。

当院は、へき地医療を除く5事業に対応しており、例えば、小児医療に関しては9人の常勤医師を配置して小児専用の病棟を備えており、24時間365日の小児救急を行う体制を整備しています。周産期医療では、ハイリスクな妊産婦への対応や助産制度の利用機関になっています。救急では、年間4,000台を超える救急車の受入れを行っており、災害時には、枚方市の災害医療センターとして中心的な役割を担うこととされています。また、今回のコロナ禍では、蔓延当初の段階から地域を越えた感染患者の受入れを行うなど、大きな役割を果たせたと自負しています。

今後も地域における公立病院としての役割を担うことができるよう、医療機能の充実に努めてまいります。

## 内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチXi)の導入



鱒淵 真介  
(ますぶち しんすけ)  
消化器外科部長

この度、当院では手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ Xi)を導入しました。イタリアのルネサンス期を代表する天才芸術家で人類史上最も多才との呼び声も高い人物である“レオナルド・ダ・ヴィンチ”、その名を冠した手術支援ロボットです。これまでにいくつかの手術支援ロボットが開発されていますが、現在

世界的に普及している手術支援ロボットは Intuitive Surgical 社の開発した「da Vinci Surgical System (ダ・ヴィンチ)」で、その最新バージョンが「ダ・ヴィンチ Xi」です。枚方市内では2施設目の導入となりました。この手術支援ロボットは、欧米を中心に1997年より臨床応用されており、わが国では 2009年 11月に厚生労働省により薬事承認されました。従来のダ・ヴィンチは前立腺や腎臓などの泌尿器科領域が対象でしたが、ダ・ヴィンチ Xi では大幅な機能改善が行われたため、消化器外科領域・呼吸器外科領域・婦人科領域にも対象が広がり、保険診療で手術を受けることができるようになりました。私ども消化器外科では、まずは食道がん・胃がん・大腸がんを中心に、ロボット支援下手術を導入していき、少しずつ適応を拡大していく予定としております。

ロボット支援下手術の構成は、コックピットのような“サージョンコンソール”に執刀医が座って手元のコント

ローラーや足元のペダルを操作すると、“ペイシェントカート”の4本のロボットアームにその動きが伝わり、“ビジョンカート”のモニターに手術中の画像が映し出されます。ロボット支援下手術は、これまでの内視鏡手術(腹腔鏡手術・胸腔鏡手術)の利点をさらに向上させることができると考えられています。これまでの内視鏡手術は直線的な鉗子を用いて操作していたために動きに制限がありましたが、ロボット支援下手術は人間の手の動きを模倣した多関節を持った鉗子で操作を行いますので人間の手以上の自由な動きができ、複雑で細やかな手術手技が可能となります。また3次元による正確な画像情報を取得できるため、より安全かつ低侵襲な手術が可能となり、根治性と機能温存を高める可能性を秘めた最新鋭の医療機器です。

もちろんダ・ヴィンチ Xi はロボットが勝手に手術をすすめるわけではなく、我々外科医の意志で手術を遂行していきます。このハイテク技術を駆使することで地域の皆様にこれまで以上にハイレベルな医療が提供できると考えております。

手術支援ロボットが市立ひらかた病院に革新をもたらし、当院のモットーとしている「心のかよう医療を行い、信頼される病院」に更につながるのではと大きな期待を抱いております。これからも、これまで以上に患者の皆様や地域との信頼関係を築き、安心と満足の得られる医療を提供することで、地域に貢献してまいります。



## ダ・ヴィンチ内覧会を開催しました

市立ひらかた病院では、内視鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチXi」導入にあたり、7月2日、内覧会を開催しました。当日は、市関係者13名、地域の医療関係者19名の参加がありました。

講演の部では、まず林病院長より、地域医療支援病院である当院におけるロボット支援手術の導入の意義についてお話するとともに、河合消化器外科主任部長兼医療相談・連携室長より、具体的な手術の実際について、対象患者および手術体制、腹腔鏡手術との違いなどについて説明しました。手術室での内覧では、10人程度のグループに分かれて、実際に参加者にもダ・ヴィンチを操作していただき、腹腔鏡との操作の違いも体験していただきました。

当院では、ダ・ヴィンチの活用により、患者さんにとってより低侵襲で安全な手術に努めてまいります。暑い中参加いただいた皆様、どうもありがとうございました。



## 新任医師のお知らせ

前之園 良一（まえのその りょういち） 令和4年7月1日着任

泌尿器科 副部長



7月から泌尿器科に着任いたしました前之園と申します。この度、市立ひらかた病院にダ・ヴィンチ Xi が導入され、泌尿器科を盛り上げていければと思います。専門は腎不全の分野で、東京女子医科大学で腎移植を学んで参りました。当院では主に一般泌尿器科の分野に重きを置きますが、移植などに興味があれば、連携している大阪医科薬科大学病院に紹介することも可能なので、お気軽にご相談ください。

# 登録医療機関のご紹介

## 亀岡内科

枚方市西禁野2-2-15 TEL.072-848-8866

診療科 内科・糖尿病内科



亀岡 慶一 先生



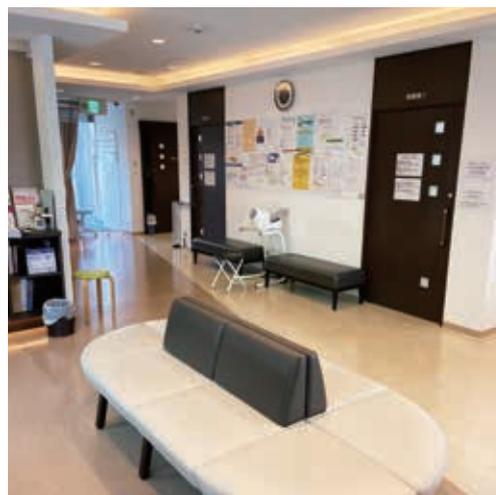
亀岡先生は、たくさんの患者さんと治療を通じて関わっていきたくと考えられ、2002年4月に枚方で開業されました。先生は糖尿病内科が専門ですが、様々な疾患に対応し、往診や訪問診療もされています。日々、100点満点の診療を目指して精進されていると話されていました。

診察は患者さんに寄り添いながら、じっくり時間をかけて診察し、患者さんの心に響く指導を心がけて

おられます。特に糖尿病治療は長く患者さんと関わる疾患であり、患者さんと会話する空気感や信頼関係を大事にされているそうです。

また、昨今の高齢者における一日の食事摂取量では、目指す摂取量より少ない傾向にある為、筋力を低下させてしまい、日常生活が困難になる時期が早く訪れる傾向にあると話されていました。地域の高齢者が健康寿命を延ばすことで人生をより豊かにし、生活を楽しめる時間を多く作ってほしいと考えておられるそうです。

亀岡先生、ありがとうございました。



## たかぎ歯科クリニック

枚方市楠葉花園町15-1 くずはモール本館1F TEL.072-855-4618

診療科 歯科



高木 一徳 先生



高木先生は、出身地である京都で経験を積まれ、樟葉で開業されました。先生は、治療後の状態を維持できることに重点を置き、予防歯科に特化した診療をされています。その為、診察時には患者さんのこれまでの治療歴や日常生活などのバックグラウンドを把握し、新たな疾患を防ぐ為に歯磨き指導を通して、予防の重要性の説明や動機づけを行っていると話されていました。

またコロナ禍では、患者さんが仕事でZOOM等のオンライン利用時に口元を綺麗にみせたいという新たなニーズが生まれ、幅広い年代の審美に対する要望に対応してこられたそうです。

先生の余暇の癒しは、飼育しているインコとの触れ合いだそうです。自宅には40羽のインコがいて、毎朝1時間愛情込めてお世話されているそうです。

診察室の茶色を基調とした室内は、大通りからの喧騒を感じない柔らかな空気感と、治療中もリラックスできる居心地の良さを感じました。

診察室の茶色を基調とした室内は、大通りからの喧騒を感じない柔らかな空気感と、治療中もリラックスできる居心地の良さを感じました。

高木先生、ありがとうございました。

